

香大っこサポーター託児体験実習報告書

日時：平成25年8月7日(水) 10:30～14:30 場所：北5号館1階男女共同参画推進室

参加者：託児サポーター15名（男性：3名 女性：12名／

教育学部10名・法学部1名・経済学部2名・農学部1名・医学部1名）

7月3日（水）の幸町キャンパス「香大っこサポーター養成講座 説明会」に続いて、8月7日（水）「香大っこサポーター託児体験実習」が行われました。これは、香大っこサポーターの個別の託児に備えて、指導者が見守る中、実際の乳幼児の預かりを通して、具体的な託児技術の習得することを目的に行いました。

託児ボランティアあゆみの代表 梶ヶ谷真知子さんとスタッフ3名の方がお手伝いくださる中、15名のサポーターが参加しました。国分寺子育て広場「ぶんぶん」を利用する保護者の方々に協力いただき、8か月から4歳までの10名の乳幼児が、男女共同参画推進室で、香大っこサポーターの託児を実際に体験しました。

先般の説明会での梶ヶ谷さんのレクチャーやDVDを通して基礎を学んできたサポーターでしたが、本物の赤ちゃんや子どもさんを実際に保護者からお預かりする時は、とても緊張した面持ちでした。最初に、体調や子どもさんの好きな遊び、アレルギーの有無など、託児シートの記述を参考に、丁寧に聞き取っていきました。お母さんたちが部屋から出ていくと、後追いで、急に泣き出す赤ちゃんや平気で楽しそうに遊んでいる子ども達に、サポーターは戸惑いながらも、一緒に楽しく過ごせるように頑張っていました。

お昼の時間には、いっしょにお弁当を広げ、子どもたちと一緒にご飯を食べたり、初めて見る離乳食をおそろおそろ食べさせたりしました。そして、お昼寝の時間には、寝ぐずりする赤ちゃんを辛抱強くあやして、1時間以上もかけて寝かしつけました。『9か月の女の子の担当になり、言葉による意志の疎通が出来なかったのも、とても苦労した。寝る前と寝た後(起き掛け)は、少しでも抱っこをやめると泣いてしまうので大変だった。(農学部女子)』、『子ども達との接し方がわからなかったが、子ども達の方から話しかけてくれたので、緊張がとけ、こちらからも積極的に関わることが出来たと思う。(経済学部男子)』、『託児実習をしてみて、子どもって本当に元気だと思いました。思っていたよりも話かけてくれたり、笑ってくれたりして、かわいくてすごく癒されました。次の機会にはもっと周りを見れるようにしたいです。(教育学部女子)』と思いの感想を残していました。そして、『実際に保育実習をやってみて、母親がどれだけ子育てに苦労しているのかがよく分かった。将来、子育てをすることになったら、任せっきりせず、自分も子育てを手伝わなくてはいけないと思った。(経済学部男子)』など、これからの人生にとってとても貴重な深い体験に繋がったようです。

ご協力いただきました、国分寺の保護者の皆さん、梶ヶ谷さんはじめ託児ボランティアあゆみのスタッフの皆さん、そして、不慣れな託児につきあってくださった可愛い乳幼児の皆さん、本当にありがとうございました。

頑張ったサポーターの皆さん、この託児体験を生かして、サマースクールや休日出勤時の託児、短時間の預かりに、前向きに取り組んでください。



初めての預かり



にぎやかなごはん風景



初めて離乳食を体験